

研修テーマ	「樹木診断事例のその後の検証(1)」(アカガシ)	参加者	埼玉支部 19名 他支部 1名(東京)
講師	野村 静男 樹木医	研修場所	埼玉県比企郡ときがわ町西平 (萩日吉神社)
研修資料	治療時の概要説明書	研修記録者	成山久広

行程・内容:

9 : 50 萩日吉神社集合	
10 : 00 研修概要説明	10 : 15 山王会館にて
10 : 20 (アカガシ)外観診断及び治療部点検 ～(地上部の衰退度判定表を基に診断)	
11 : 50 昼食	12 : 30 山王会館にて
12 : 30 精密診断準備	
13 : 00 打撃型音波CT(ArborSonic3D)による空洞部診断 貫入抵抗測定(レジストグラフPD-600)による空洞部診断	14 : 30
14 : 45 外観診断の意見交換、精密診断結果報告等	山王会館にて
15 : 20 閉会	
15 : 30 研修にて剥離した部分の復旧	16 : 30 撤収

研修写真:



現地での研修風景



山王会館にて研修概要説明等



対象木 アカガシ ブナ科 コナラ属
樹齢: 未検証
樹高: 15m(雪害強剪定前)現状≒10m
幹周: 3.7m 根周り: 5.8m 枝張: 未測定

研修概要

1. 樹体治療痕の点検及び根系改良部の掘削確認



樹幹空洞部の点検を行う



治療痕を剥離し効果の点検を行う



土壌改良部を掘削し根系の発達を確認する

2. 現在の外観診断(地上部の衰退度判定)



各自(地上部衰退度判定表)に基づき診断を行う
午後意見交換をおこなう

3. 精密診断による樹幹空洞の空洞率測定



打撃型音波CT(ArborSonic3D)による測定



レジストグラフによる測定